

項目	観点
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	<p>図画工作(9・開隆堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で、芸術家の作品や詩やことば、国内外の芸術作品を紹介しており、自分の作品づくりにつなげられるよう配慮されている。 ・作品を制作した児童の感想が、それぞれの作品につけられている。 <p>図画工作(116・日文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭部分には、子供たち制作している過程の写真が多く掲載されており、楽しく活動できそうな期待感を高める配慮が見られる。 ・高学年では、教科書美術館のページがあり、作品鑑賞を深めることができる。 <p>○ 表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするために、どのように配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形作品を活用して、友達や自分の作品のちがいや良さを感じながら、つくる喜びを味わえるよう配慮されている。 ・モダンテクニックや遠近法などの表現技法が取り上げられている。 <p>○ 造形的な創造活動の基礎的能力を育て、豊かな情操を養うために、どのように配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動のヒントとなる言葉をキャラクターの吹き出しに入れたり、活動の様子がわかる場面の写真を示したりすることで、発想・構想の能力を育めるよう配慮されている。 ・造形活動において、それぞれの学校の実態に応じて使える工夫が見られる。
2 内容の程度及び取り扱いについて	<p><基礎・基本の定着のための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材を取り扱う見開きページの中に、最低限必要な基礎的能力を育成するための工夫がみられる。 ・巻末の「工具箱」「パレットコーナー」で技能の基礎基本を詳しく丁寧に取り上げている。 <p>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末ページには、どの題材でも使える内容がまとめて掲載されている。 <p><関心意欲を高め・主体的な学習活動を促すための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな活動を紹介する写真やそこに児童の会話やつぶやきを吹き出しにして示すなどして、自分なりの発想をふくらませる工夫が見られる。 ・自然とふれあう題材が発達段階に応じて紹介されている。 <p>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材や教材を多面的に見るヒントが示され、活動意欲を促す工夫が見られる。 ・自然物だけでなく、人工物を合わせて使う題材があり、地域性に柔軟に対応できるよう工夫されている。 <p><個に応じた指導のための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が作りたいものを身近なものから選ぶ楽しみの選択肢が広がるような工夫が見られる。 ・巻末の「工具箱」「パレットコーナー」で技能の基礎基本を詳しく紹介している。 <p>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに、「かたづけ」や「気を付けよう」のコーナーを明示し、安全面や後片付けにおける工夫が見られる。 ・ページ右下に「片づけ」を設け、事後の指導がスムーズにできるような配慮がある。 ・題材においては、「気を付けよう」を設け、用具の使い方に対する注意喚起の配慮がある。
3 構成・配列・分量	<p><関心意欲を高め・主体的な学習活動を促すための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色などに対する好奇心、材料や用具に対する関心やつくりだす活動に向かう意欲を高めるた <p>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が作りたいものを身近なものから選ぶ楽しみの選択肢が広がるような工夫が見られる。 ・巻末の「工具箱」「パレットコーナー」で技能の基礎基本を詳しく紹介している。 <p><個に応じた指導のための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が作りたいものを身近なものから選ぶ楽しみの選択肢が広がるような工夫が見られる。 ・巻末の「工具箱」「パレットコーナー」で技能の基礎基本を詳しく紹介している。 <p>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに、「かたづけ」や「気を付けよう」のコーナーを明示し、安全面や後片付けにおける工夫が見られる。 ・ページ右下に「片づけ」を設け、事後の指導がスムーズにできるような配慮がある。 ・題材においては、「気を付けよう」を設け、用具の使い方に対する注意喚起の配慮がある。 <p>○ 各学年のねらいや発達段階から見て、題材の配列、各領域の内容の分量には、どのような特色があるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次に題材で使う道具や用具が紹介されていて、大まかな活動の流れや必要な材料や用具を一目で把握することができる。指導計画が立案しやすいように、各領域のバランスがとられている。題材がバランスよく配列されている。参考作品がバラエティに富んでおり、発想を掻き立て、自分なりの表現を追求できるような特色がある。 ・題材数は各教科書とも17～23である。 ・版画でステレンボードを使った想像画を扱うなど、新たな題材を取り入れている。 <p>○ 教科書の左上端に色別で題材の配列が明示されている。目次の題材には、活動がわかる小さな写真が掲載されている。題材はバランスよく配列されている。どの学年も絵画の割合がやや高い。高学年で鑑賞が充実しており、鑑賞素材も日本的のものやアートカードを取り扱うなど幅広い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材数は18～22である。 ・5, 6年生の版画の題材では、木版画の基本的な技法をもとに発展できる内容も紹介されている。

4 表記・表現	○ 題材全体のレイアウトや図版等の説明について、どのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトや図版等で活動のイメージを持ったり、想像を膨らませたりするような工夫が見られる。子供たちの目を引き配色で、印象に残る作品が多く掲載されている。題材名は、児童の興味関心を引くような表現になるよう工夫されている。 ・作者の言葉など、各作品の説明が詳しく書かれている。 ・ページ右下に「ふりかえり」が表記されており、評価の観点がわかりやすく示されている。 ・絵画の題材のページに「外国の友達の絵」が紹介されており、他国の児童作品に触れる機会を設けている。 ・青枠の中に、学習活動で大切にしたいポイントが明示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの題材が見開き2ページで構成されている。作品を使って友達と活動を楽しむ場面が多く掲載されている。また、作品の制作過程の場面が示されており、子供たちが大まかな活動の流れを把握できるような工夫が見られる。 ・学習のめあてが、黒板形式で提示されている。また、重要ポイントがアンダーラインで強調されている。 ・使用する道具が、ページ内にアイコンで示されている。
	○ 文字や作品等の色や大きさについて、どのような特色が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・文字数が多い。活動のヒントとなるつぶやきを入れてあり、図版の説明を吹き出しに入れることによって、子供の目を引く工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開隆堂に比べ、文字数が少なくすっきりとしている。文字の字体(丸ゴシック体)がやわらかな印象で大きさも見やすい。色やイラストを組み合わせた題材表示により、活動のイメージがつかみやすい特色となっている。
5 体裁、使用上の便宜	○ 製本、表紙等について、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙に児童作品を大きく掲載するとともに、発達段階に応じたメッセージを楽しい字体で伝えている。裏表紙では、上が鑑賞、下が社会とのつながりを意識した活動例や作品が紹介されている。 ・総ページ数46～48ページ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙に児童作品がさらに大きく掲載されている。裏表紙には、表紙の作品を制作した児童の思いが紹介されており、鑑賞の一助となっている。また、短時間でできる題材も示されている。 ・総ページ数58ページ。
	○ 目次や資料の使いやすさについては、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・目次に題材名とともに、主に使用する道具や材料が明記されており、活動の見通しや目標が一目でわかる配慮がある。 ・巻末の「パレットコーナー」には画材の表現方法、「道具箱」には道具の使い方が詳しく説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に用具の使い方や表現技法などの資料が多く掲載されているので、基本的な技能の取得ができるような配慮がされている。 ・題材の領域分類が、各ページの左上に簡単なマークで示されている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具の使い方が詳しく記載されている。 ・巻末ページには、どの題材でも活用できる内容がまとめて掲載されている。 	